



食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋、皆さんはどんな秋をお過ごしですか。スポーツといえば、この時期は恒例の運動会。今年の小学校の運動会は、感染予防対策の効果もあって、第5波がようやく収まりかけた頃に観覧者の人数制限、短時間での開催となりました。コロナ禍でも子ども達のこれまでの頑張りを多くの方々に応援してもらい、どんな結果であろうともたくさん褒めてあげたい。亡き父が良く言っていた“子どもの話を聴きなさい”という言葉思い出します。大人になると自分の都合を優先してしまう場面が多々あります。この日ばかりは、運動会であった出来事を子ども達と分かち合い、話をよく聴いて天国の父にも報告したいと思えます。マスク生活で感染症には効果がある反面、笑顔を見る機会が減りつつあります。これからも、利用者さんが安心できる声かけを常に心掛けたいと思えます。当たり前だった日常に感謝しつつ、こんな時代だからこそ、自分にできる何かを探して…目指すは『一日一生』。(副主任:幸(美))

## 10月行事予定表

- 1日(金): 体重・血圧測定
- 13日(水): 健康相談
- 14日(木): 避難訓練
- 16日(土): 運動会  
レクリエーション
- 19日(火): 音楽の日

## おたんじょうびおめでとう



大山 真言さん



碩 友美さん



猿渡 明弘さん



岩越 タツヨさん



田中 國枝さん



島本 誠さん

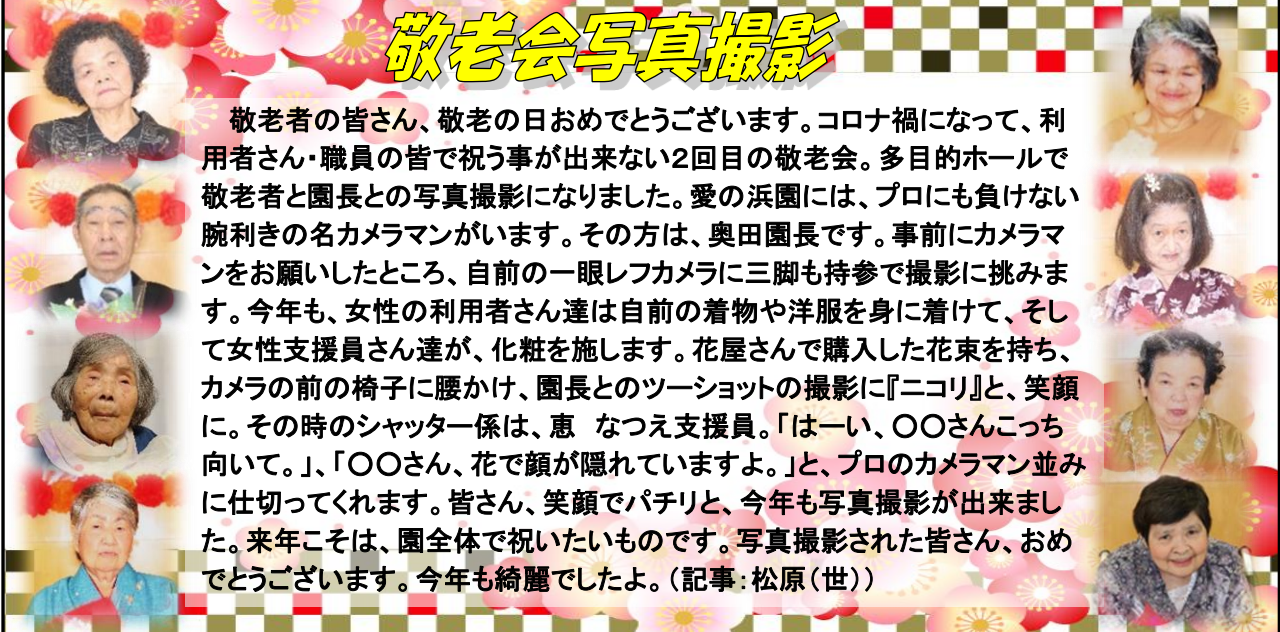


稲田 吉浩さん



藤島 亜由美さん

## 敬老会写真撮影



敬老者の皆さん、敬老の日おめでとうございます。コロナ禍になって、利用者さん・職員の皆で祝う事が出来ない2回目の敬老会。多目的ホールで敬老者と園長との写真撮影になりました。愛の浜園には、プロにも負けない腕利きの名カメラマンがいます。その方は、奥田園長です。事前にカメラマンをお願いしたところ、自前の一眼レフカメラに三脚も持参で撮影に挑みます。今年も、女性の利用者さん達は自前の着物や洋服を身に付けて、そして女性支援員さん達が、化粧を施します。花屋さんで購入した花束を持ち、カメラの前の椅子に腰かけ、園長とのツーショットの撮影に『ニコリ』と、笑顔に。その時のシャッター係は、恵 なつえ支援員。「はい、〇〇さんこっち向いて。」「〇〇さん、花で顔が隠れていますよ。」と、プロのカメラマン並みに仕切ってくれます。皆さん、笑顔でパチリと、今年も写真撮影が出来ました。来年こそは、園全体で祝いたいものです。写真撮影された皆さん、おめでとうございます。今年も綺麗でしたよ。(記事:松原(世))

## 夕涼みディナー

9月3日(金)食事を開催しました。例年、夕涼み会を開催していましたが、今年は、コロナ感染拡大、奄美市の警戒レベルが5となっており、職員で開催をどうするか話し合いをした結果、少しでも利用者さんに楽しんでもらえるように夕食を豪華にし、提供する事になりました。当日は、係の職員や厨房の職員が盛り皿や焼きそば、焼き鳥等食堂に並べバイキング方式で、食べたい食事を選び、夕食をとりました。利用者の中には、余興を楽しみにしている方もいましたが、早くコロナが終息し利用者の皆さんが楽しく参加できる日が来る事を願います。(記事:隈元)



## 陶芸活動の紹介



元気いっぱい どっこいおじ



やさしさあふれる おじぞう

今年3月、感謝の意を込めて皆様にお届けした「あいじぞう」を商品化したいと榮野講師に相談したところ、誕生した、その名も「どっこいおじ」。あぐらをかいて手まきをし、頭にはねじりはちまき。そして八月踊りの掛け言葉「どっこい、どっこい」と言いながら、今にもチン(島の太鼓)の音が聞こえてきそうな、何とも言えない笑顔で踊っているシマのおじ。榮野講師の、「祈りもいいが、コロナ禍の、こんな時こそみんなに笑顔になってほしい」という想いで生まれたおじ。ねじりはちまきやカードのスタンプ、ところどころで利用者も制作に携わっています。おじが座っている紬の座布団は、利用者が織った紬で就労Bの職員がひとつひとつ手作りしてくれています。私のシマ(集落)も、もう2年も八月踊りができていません。子どもの頃、太鼓が聞こえると一目散に広場に飛び出していった私には、とても淋しい2年です。それはきっと皆さんも同じだと思います。だから、こんな時こそ、笑いましょ！どっこいおじを販売します。詳しくはお問い合わせください。どっこいおじと一緒に笑ってくれたら幸いです。(ちなみに、あいじぞうも販売予定です！)(記事:松原(充))

## 救急講習会

～救急救命士から学ぶ救助方法～

8月10日(火)救急救命士の豊島 勇蔵(とよしま ゆうぞう)氏を愛の浜園多目的ホールに招き、救命救急(応急手当)についての研修会を実施しました。内容は心肺蘇生法を、ダミー人形を用いたの練習や、AEDの使用目的や、使用方法などを学びました。私たちの多くはまだ実際に救急救命の場に立ち会っていない職員が多いので、今回のような研修で学ぶことによって、有事の際には落ち着いて対応できるようにしていきたいと思えます。(記事:田畑)



## ～親子の絆～

### 子を想う親の気持ち

9月18日(土)は高 由香さんの誕生日でした。6月、グループホームフレンドから愛の浜園施設入所となり、慣れない生活の中、お仕事(施設外就労)に通いながら日々頑張っています。私が誕生日前日、準備を進めていた中、ていだの富田副主任よりこのような話がありました。他事業所に通う母チエ子さんが「18日は由香さんの誕生日ですね。」とお話をして下さったとの事でした。土曜日は日中一時を利用されているチエ子さん。9月に入ってから、感染症対策の為に、利用を一時中止している状況でした。子を想う親の気持ち…。母チエ子さんの言葉に対して、ぜひ一緒に誕生日をお祝いしたいとの思いが私たちの中で湧いてきました。明日はちょうど土曜日という事もあり、富田副主任が思いを汲んで下さりこの機会にと、市田課長代理、辻原課長、奥田園長に相談してくれたのです。そして、願いが叶った親子での誕生会。由香さんは、ケーキのロウソクの火を丁寧に吹き消し、「これからも良い事が起きますように…。今日は楽しい。ありがとうございます。」と満面の笑顔で気持ちを伝えて下さいました。また、母チエ子さんの誕生日が8月にあったとの話をし、「今日は一緒にお祝いでよかったです。ケーキをぜひ家に持ち帰ってほしい…。」と母への優しい気遣いがみられ、素直な気持ちを表現する由香さんに胸が熱くなる場面がありました。幼い頃から母と離れて暮らしていた由香さん。今まで一緒に誕生日をお祝いした事があるのか…。これが2人にとって思い出のひとつになってくれたら…。と様々な思いが膨らむ出来事でした。これからも親子の絆を大切に…。由香さん、チエ子さんの気持ちに寄り添いながらそばで見守っていきたいと思います。(記事:屋園)



## 月間三賞受賞者

### <努力賞>

- ・岩越 隆道さん…光線治療を受け、症状が良くなりました。
- ・用 得美さん…①病院での検査を落ち着いて受ける事ができました。  
②朝起きたら、身嗜み(髭剃り)に取り組む事が出来ました。
- ・濱手 輝代さん…食後の歯磨き(嗽)を自ら取り掛かる事ができました。
- ・森山 麻李亜さん…誕生日を迎え、年齢を重ねた事で気持ちのコントロールができるようになってきました。
- ・坂井 文也さん…就労Bで作った野菜の販売を、毎回快く受けてしっかり販売してくれました。
- ・清正 倫太郎さん…短期入所利用を頑張りました。
- ・窪田 健太さん…洗濯後のかごの中身を自分のタンスに片付ける事ができました。
- ・松島 大志さん…苦手な爪切りを定期的に支援員と一緒に頑張っています。
- ・神田 和秋さん…下膳後、自分で水分を摂取することが増えています。
- ・森山 義範さん…病院での検査を落ち着いて受ける事ができました。
- ・酒井 真希さん…①頑張ってレントゲン検診を受ける事ができました。  
②グループホーム宿泊体験を頑張りました。
- ・田中 國枝さん…検診車に乗り、落ち着いて検診を受ける事ができました。

- ・大山 真言さん…サポート班でウォーキングを頑張っています。
- ・高 由香さん…施設生活にも慣れ、約束事もしっかり守る事ができています。
- ・碩 友美さん…音楽の日において、みんなの代表として大きな声で歌う事ができました。

### <親切賞>

- ・郁 一男さん、幸 裕次郎さん  
…施設の昼食時に友達の食器を片付けてくれています。
- ・政岡 りつ子さん…活動に参加する前に他の利用者に対し、促しの声掛けをしてくれます。
- ・永田 三十六さん…①入浴時、お友達の着替えの手伝いをしてくれています。  
②友達の車椅子のテーブルのセッティングをしてくれました。
- ・東條 和三さん…食事の際、友達を気遣い、一緒に食堂に行ってくれました。
- ・龍田 光保乃さん…共同トイレのスリッパを綺麗に並べてくれています。

### <奉仕賞>

- ・榮 敏郎さん…職員の手伝い(コップ洗いや洗濯物干し等)を率先して行ってくれています。
- ・岡山 いずみさん…食堂の掃除を自主的にきれいに掃除してくれました。
- ・最上 順子さん…食堂の掃除の際、テーブル拭きを頑張りました。

## 9月の愛の浜園

